

## 第 3 回かわにし市民会議 議事メモ

班	1 班「産業の活性化」
コーディネーター	荒井 英明
ナビゲーター	中田 華寿子
説明担当者（自治体）	なし
日時	2019 年 7 月 27 日（土） 13 時 00 分から 16 時 00 分
場所	川西市保健センター 1 階集健室
その他	参加者数 17 名

## 趣旨・概要

ブランドづくりについて  
新しい産業について

## 総括

## コーディネーター総括

たくさんの意見が出た。シニアの方も若い方も一緒になって、住みやすいまちにするための新しいビジネスモデルを考えるのもよい。新しい川西方式を作れないか。

## 協議の流れ

## 1 第 2 回市民会議振り返り

第 2 回は、公共交通と産業について市の担当者からの説明を聞いた後意見交換を行った。主に住民の利便性の向上や、かわにしのブランド力を向上させるためにはどうしたらいいかといったテーマで議論を行った。

## 2 部会での検討状況の発表

- ・朝採りいちじくは全国的にも評価が高いにも関わらず、食べる機会がない。ネットや通販が発展しているので、その流通の利便性を利用して全国に送れるのではないかな。栗も銀寄という有名な品種がある。マロングラッセなどの加工品なども作られているので全国に広めることができるのではないかな。
- ・川西市の広報誌は、コンクールで何度も賞をとっており、評価が高いにも関わらず、一般に広報誌を見る方が少ないと感じる。スマホに対して、プッシュ通知するようなコンテンツがあってもよいと思う。広報誌だけでは限界があるので、SNS を利用するのが効果も高いのではないかな。
- ・仕事を持つ子育て世代への支援策として、流山市は、駅前に各保育園への送迎ステーションを設けている。保護者が朝出勤する前に送迎ステーションに子どもを預け、そこから保育所へ送迎してくれるといったサービスである。このサービスは非常に好評であり、流山市では子育て世代が増えていると聞く。川西市でも需要はあるのではないかな。
- ・川西市は南部・中部・北部の 3 つに分けられ、エリア毎に特色も異なるので方針も 3 つに分けて考える方がいいのではないかな。

参) : 市民参加者、コ) : コーディネーター、ナ) : ナビゲーター、市) : 説明担当者

( 様式 )

コ) 広報紙を見ますか

いつも読んでいる.....約 8 人

たまに読んでいる.....約 5 人

ほとんど読んでいない...約 3 人

### 3 「ブランドづくり～15万人に愛される自治体が動きはじめる」

(ナビゲーター元ライフネット生命株式会社常務取締役 中田華寿子さんより説明)

- ・現在有名なスターバックスコーヒーやライフネット生命も、知名度のないところから、こだわりのある唯一無二のスタイルを模索することで、それがブランドとして定着していった。
- ・川西市の魅力を語るとき、たくさんあると拡散してしまうので、一つに焦点を絞ることが重要
- ・市民会議の意見を聞くと、川西市は住みやすいまちである感じている方が多いという印象を受ける。なぜ住みやすいのか、どういうところが住みやすいのかということを深堀りしてみる。そこにどういう産業が関係してくれば住みやすいのかを議論していけばよいのではないか。
- ・川西市をイメージさせる象徴的なビジュアルがあればよい。例えばスタバなら特徴的なロゴだが、川西市の場合は何か？  
挙手で 風景... 4 人、市章... 0 人、市長... 0 人、キキョウのマンホール... 0 人、  
きんたくん... 13 人
- ・きんたくんが定着しているので、有名人に使ってもらうことで、さらに知名度を上げる方法もある。
- ・エピソードや歴史などを盛り込んだオリジナルストーリーと絡めて世の中に発信すると記憶として残っていく。ぜひ、オリジナルストーリーをつけて、ツイッターやインスタ、フェイスブックなどの媒体を使い、お金をかけずに、全員が自分ごととして PR パーソンとして発信をしてほしい。文化は人からしか生まれない。

「全国的な知名度の高いものがない」「川西のブランド力をあげる」

参) 三ツ矢サイダーも現在、市内では生産していない。また、菊炭は出荷量が少ないため、外に向けて大きく PR できるほどではない。川西 IC は、利便性もいいので、物流という面で産業の活性に活用できないか。

コ) 全国レベルのものが少ない中で、どういうイメージを作り上げてどう伝えていくか。

参) 大和やグリーンハイツなど住宅開発の方法である「川西方式」は、本当に全国的に有名だった。当時、全国で川西方式を取り入れていていた。

コ) 川西方式のように、よそがやっていないことをやってまちのブランドを作るのがよい。

参) : 市民参加者、コ) : コーディネーター、ナ) : ナビゲーター、市) : 説明担当者

( 様式 )

参) 菊炭はお茶の世界では、「池田」炭として有名である。川西市で作っていても、実は池田から出荷されており、池田炭となっている。源氏にしても、源氏の故郷とはっきり由緒があるのに、源氏のイメージは関東の方が強い。朝採りいちじくも、日持ちしないので、どうやって東京に送るか課題がある。川西市は誇れるものがあるが、知名度の面で残念な話がよくある。

参) 先ほどの、お話の中で、川西の売りを探すというのがあったが、川西の売りを探してもすぐには出てこなかった。正攻法で攻めてもだめだと思う。「中途半端」を売りにするのはどうか。自虐的に攻めていく。でも、もちろん次のコンテンツは必要だと思う。

コ) 今までの行政にない遊び心や余裕を入れていくものいいと思う。

参) 川西の電車の駅は、JR は「川西池田駅」、阪急は「川西能勢口駅」と、「川西」と川西単独の名前がついていないのが残念である。

参) 名物とまでのものではないが、きんたくんがかわいくて好きであり、定着しているなら活かしていきたい。小さくてもピカッと光るものが欲しい。

コ) 新しく光るものを作るのではなく、すでに光っているものを活用するのがいい。

参) オランダでは、長く続く優良企業に「ロイヤル」の称号をつけてよいことになっていると聞く。川西市でもそういう称号などをつけていくなどどうか。例えば産地のものにきんたくんラベルをつけるなど

コ) 何かに協力してもらったらラベルをつけるなど市内の企業へのアワードをつけていけば、市内の企業ももっと有名になろうと活性化するのではないか。

参) 市内では、いちじくの知名度は高いが、購入する機会が少なく、価格が高いため、市民は意外と食べる機会が少ない。1 パックに 5 ～ 6 個ではなく 1 個単位で買いやすくすればいいのではないか。

コ) 市民から私は食べているといった意見もあるが、まずは、名産であるいちじくを、市民がもっと食べる機会を増やしてはどうか。

参) 小学生の給食にいちじくが出ている。また、小学校三年生では、いちじくの学習会があり、いちじく農家の所へ行って話を聞いたりするという授業もある。

ナ) オリーブオイルをかけるといちじくはとてもおいしい。企業とコラボをして、お金をかけずに食べ方が色々あることを PR するのがよいのでは。

### 3 意見交換

「シニアのビジネス」

参) 人口減の中でシニア世代が増えているのでシニア世代が活躍できる仕事があればよいのでは

参) : 市民参加者、コ) : コーディネーター、ナ) : ナビゲーター、市) : 説明担当者

( 様式 )

参) 東京都江戸川区に住んでいた時には、行政がシニア世代と子育て世代をマッチングして、シニア世代に有料で子どもを見てもらう制度があった。その制度のおかげで子育てに集中することができた

コ) ファミリーサポートのことだと思う。シニア世代と子育て世代が WIN - WIN のシステムである。ビジネスとしても、子育てサービスとしても安心感がある。

参) シニア世代といっても、元気で、まだまだ働きたいと思っている人も多い。宅配サービスや出かけるのをヘルプするなど、コミュニティなどで人の登録や斡旋ができるといいと思う。

参) 子育てしている中で、地域の人が子育て世代と関わって作り上げているものが多かった。地域で将棋クラブや公園で見守ってくれるおじいちゃんや猪名川の支流の溪流ツアーを子ども向けにしてくれる人などがいて、子育てに集中できた。ただし、高齢化で担い手がいなくなっている。そういうものをビジネスにしたらいいと思う。

コ) 川西市は本当に住みやすいまちだと感じる。子育てに集中できるまち、子育てを真剣にできるまち、子育てを楽しめるまちを強調していけばいいのではないかな。

「大人も学べるまち」

参) 若い人を呼び込む戦略しかイメージしていなかったが、シニア世代がたくさんいて、子どもからシニアまで住みやすいまちをコンセプトにしたらどうか。「終の棲家になりたいまち」をめざせば、移住してくれるのではないかな。シニア世代の学校とかを魅力にしているところは少ないのでは。

コ) 社会教育の場として「大人が学べるまち」シニア世代が働き、結果的に子育て世代へビジネスとして協力することで子育て世代が増えるかもしれない。

「教育」「病院」

参) 三田市のようなまちになれないかと思う。アウトレットや、IT のデータセンターや、私立学校の高校や大学などの教育機関がある。私立学校や大学の誘致はいいと思う。交通の利便性が悪くても三田駅などスクールバスがあり、遠方からも来ている。大学なら地方からきて市内に下宿し、就職もしてくれる。

参) 敷地があるなら大学を誘致するというのは、外から若い世代を呼べていいと思う。

コ) 学校を一から作るとなるとハードルが高い。サテライトだとそこまで高くない。学校もサテライトがある。川西の駅前などに学校のサテライトがあってというのもいい。

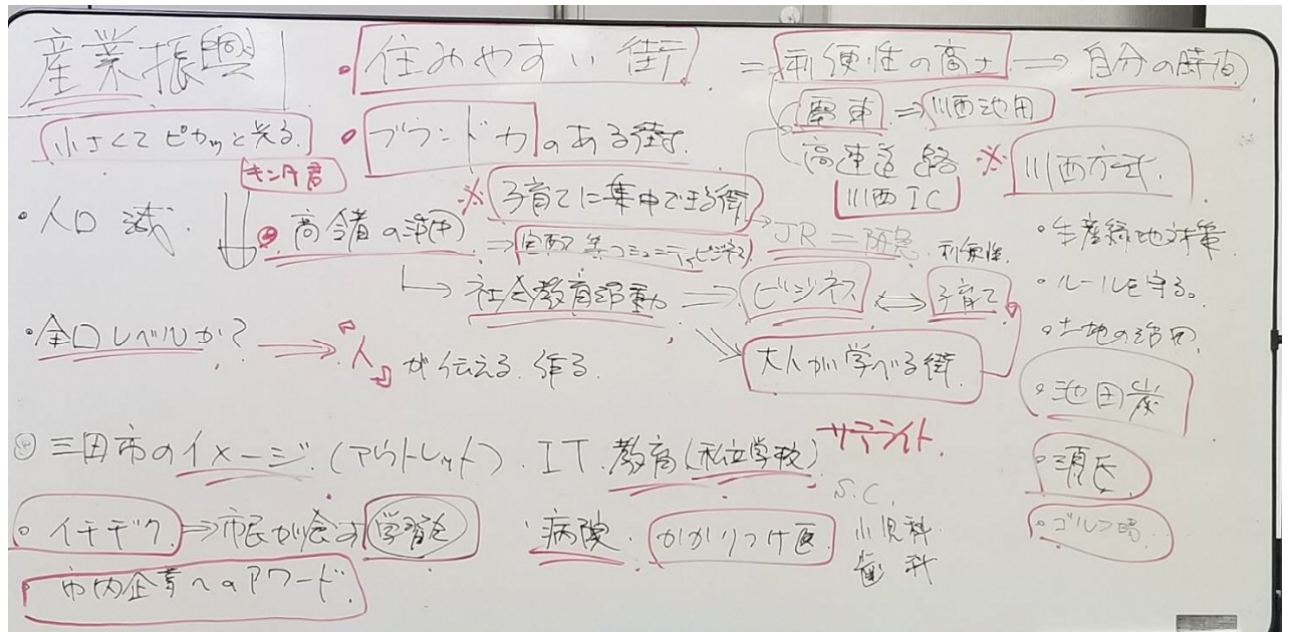
参) 私は看護師の資格を持っており、市内で働き口を探したが、なかなかなかったんで、市外で働いている。病院は出産、子ども世代、高齢者すべての世代の人が利用する。川西市には病院が少ないと感じる。

コ) 産業としても医療という面もある。クリニックのモールを作るなど。魅力となるかもしれない。

参) : 市民参加者、コ) : コーディネーター、ナ) : ナビゲーター、市) : 説明担当者

( 様式 )

## ホワイトボードの写真



参)：市民参加者、コ)：コーディネーター、ナ)：ナビゲーター、市)：説明担当者